

2019 年 10 月 11 日

2019 年 9 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は全体的に小ロット物件が多い状況の中、学参テキスト関連が数字を押し上げ前年を上回った。

（前年比 104.2%）

巻取は損保関連、教科書関連、健康食品チラシなどの大口案件の動きがあり前年を上回った。

（前年比 112.9%）

再生紙平判は官庁関連やプレミアム商品券の仕事が動き前年を上回った。

再生紙巻取は東京都の大口案件もあったが、全体的には低調で前年を大幅に下回った。

（前年比 再生上質平判 110.5% 再生上質巻取 75.7% 再生上質計 95.0%）

（前年比 印刷用紙 A 105.9%）

<A2 コート>

平判は金融、生損保、カレンダー、目論見書、一部増税関連の仕事もありマツト紙を中心に前年を上回った。

巻取は自動車、百貨店、各企業カタログ等で動きがあったものの、全体的に仕事量が少なくグロス紙、マツト紙とも前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 103.1% 巻取 74.0% 全体 96.5%）

<A3 コート>

不動産、食品、スーパー等一部増税関連で動きがあったものの新規の案件が少なく、平判、巻取ともに前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 89.2% 巻取 72.9% 全体 78.7%）

<ノーカーボン紙>

生損保関連を中心に増税前の駆け込み需要もあり、台風の災害による帳票関連の動きも重なり巻平共に前年を上回った。

（前年比 平判 110.6% 巻取 106.9%）

<上質フォーム>

生損保、官庁関連の動きも堅調に推移し増税前の取り込みもあり前年を上回った。

（前年比 105.1%）

<包装用紙>

特殊両更は役所関係の増税前の駆け込み需要と株式関係封筒で動きがあり昨年を上回った。

(前年比 115.1%)

軽包装は雑包装等の動きはあったもののその他の需要が一段落し昨年を下回った。

(前年比 98.4%)

片艶晒は金融会社向け、保険会社向け封筒で一部動きがあったものの全体的に動きは低調で昨年を下回った。

(前年比 90.8%)

両更晒はカレンダー用の平袋、百貨店向け封筒及び手提げ袋用途で動きがあり昨年を上回った。

(前年比 107.2%)

色クラフトはプレミアム商品券用封筒、保険関係封筒と一部増税前の駆け込みがあったものの昨年を僅かに下回った。

(前年比 99.6%)

包装紙合計は昨年を僅かに下回った。(前年比 98.6%)

<板紙>

秋需の高まりはあまり感じられなかったが、食品関連や日用雑貨などは一部消費税増税の前倒しも見られた。引続き、化粧品、医療関係は堅調であったが、天候不順の影響もあり全体的には前年並となった。

(前年比 101.8%)